

2014 年度統計関連学会連合第 1 回理事会・組織委員会 議事録

日時：2014 年 9 月 16 日（火）統計関連学会連合大会終了後（15:00～16:30）

場所：東京大学 本郷キャンパス 小島ホール 2 階 第 3 セミナー室

出席者：（有）は委任状あり

【学会連合理事】

（一社）日本統計学会 鎌倉稔成、国友直人 応用統計学会 樋口知之、水田正弘
日本行動計量学会 岩崎学、菊地賢一（有） 日本計量生物学会 椿広計、大橋靖雄
日本計算機統計学会 栗原考次、石橋雄一 日本分類学会 今泉忠、竹内光悦

【連合大会実行委員】大森裕浩（委員長）、栗原考次（次期委員長）

【連合大会運営委員】山田剛史（委員長）、坂本亘（副委員長）

【連合大会プログラム委員】西郷浩（委員長）、山口和範（副委員長）

【幹事】小椋透

【オブザーバー】久保田貴文

配布資料

1. 2014 年度統計関連学会連合第 1 回理事会・組織委員会 議事次第
2. 2013 年度統計関連学会連合第 3 回理事会・組織委員会 議事録

【前回議事録確認】（配布資料 2）

鎌倉理事長より、2013 年度統計関連学会連合第 3 回理事会・組織委員会議事録が報告された。岩崎理事の所属に誤りがあり訂正が行われた。

誤：応用統計学会

正：日本行動計量学会

【審議事項】

1. 2016 年度以降の開催校の選定について

2016 年度は金沢大学にお願いすることとした。

2017 年度は名古屋大学、南山大学を候補とすることとした。

2. 2015 年度連合大会について

[1] 開催校からの報告

栗原次期実行委員長より、開催期間は 2015 年 9 月 6 日（日）～9 月 9 日（水）とし、チュートリアルと市民講演は 9 月 6 日（日）とし、場所は岡山大学津島キャンパス 50 周年記念館ホールと大会議室があり 2 会場設営とする。9 月 7 日（月）～9 月 9 日（水）

は一般教育棟で一般セッションを行う。懇親会の会場は検討中で決定次第報告する。

[2] 参加組織の確認

これまでと同様に、日本統計学会、応用統計学会、日本行動計量学会、日本計量生物学会、日本計算機統計学会、日本分類学会の6学会共催とする。

[3] 組織委員会について

(1) プログラム委員会

委員の選定は、各学会で委員を推薦することが確認された。各学会の委員の人数は昨年度を踏襲する。鎌倉理事長から依頼するため早めに報告することが確認された。山口次期プログラム委員長は委員を推薦することができ、鎌倉理事長へメールで報告することが確認された。

(2) 実行委員会

実行委員の選定は栗原次期実行委員長に一任し、理事会で報告することが了承された。

(3) 運営委員会

委員の選定は、各学会で委員を推薦することが確認された。各学会の委員の人数は昨年度を踏襲する。鎌倉理事長から依頼するため早めに報告することが確認された。坂本次期運営委員長は委員を推薦することができ、鎌倉理事長へメールで報告することが確認された。

【報告事項】

1. 2014年度プログラム委員会報告

西郷プログラム委員長より、次のことが報告された。

(1) 締切の1週間位前に韓国統計学会から報告させてほしいという申し出があった。現在の規則では、報告するためには講演者（連名講演者を含む）のうち、少なくとも1名は共催6学会の会員であることが要件であるため、組織委員会・連合理事へ相談をするように返事を行ったが、締切の直前で対応が難しいため今回は取りやめとなった。国際担当の中野氏が窓口となり対応されて、中野氏より国際化に向けて通常を取り決め以外の対応の検討が提案された。

(2) 参加申込者の学会の在籍確認を行っていないが、今後行うかについての議題が提案された。水田理事より北海道大学で開催したときに参加申込者のリストを各学会へ送付して所属の在籍確認を行った。北海道大学で開催の時には、いずれの学会にも所属していない申込が1件あった。

(3) 連合大会を記事にしたい申し出が2件（日本評論社「経済セミナー」、読売新聞）あった。経済セミナーは、近隣で行われる学会について5ページ程度の記事が希望であり、セッションの内容をしっかりと聴くとのことで、原稿料4万円を非会員参加費17,000円、連合の会計23,000円とした。読売新聞は、女性の社会における活躍の取材で9/15、9/16に写真撮影が行われた。

2. 2014 年度運営委員会報告

山田運営委員長より、次のことが報告された。チュートリアルセッション参加者数 223 名（昨年 237 名）、大会参加者数 811 名（昨年 738 名）、懇親会 185 名（昨年 184 名）であった。

3. 2014 年度実行委員会報告

大森実行委員長より、次のことが報告された。停電により会場の手配の問題が生じたため、送り事項として、停電日程をチェックしてから会場設定を行うようお願いしたい。

4. その他

[1] 雑誌「統計」への投稿について

鎌倉理事長より 2014 年度プログラム実行委員長、2014 年度運営委員長、2014 年度実行委員長に、2014 年度統計関連学会連合大会の原稿の作成を依頼した。

[2] 連合のサーバーについて

久保田貴文氏より 2006 年 12 月より連合の各学会をまとめて一つのサーバーにした際には各学会からの連合へ納める会費と積立で運用してきた。2009 年の理事会において、議論が行われて、連合への参加費からの支払いで行っていると考えることと連合の会計に余裕があったことで課金は行わなかった。サーバーの運用費用は余裕のあった資金が目減りしてきて、現状を維持するためには今後課金が必要となる。Web 管理費が約 19 万円/年、ドメイン管理が約 3 千円/年、業務委託費が約 3 万円/年である。この金額は、2006 年時であり現状と合わせて変更することも考えられる。A 案は、記載通りの費用を徴収する。代案は機能を減らしてディスカウント。代案 2 は現在のクララオンラインから他のクラウドに乗り換えることを検討するが、広告を出せるかどうか、各学会で対応する人的資源を割けるかどうか問題となる。

水田理事より連合の費用は年 10 万位であるため、Web 管理費を 20 万円→10 万円にディスカウントできれば、現状を維持することが可能である。ただし、その場合は、クララオンライン→さくらインターネットなどに変えることになる可能性があり、その作業についても考える必要がある。クラウド化については、広告が出せないため、広告収入が大きいこともありよろしくないと考えられる。現状の 20 万円のサーバーには計量生物学会を除く全学会と連合が使用している。選択肢 1: Web 管理費をディカウントして現状を維持。選択肢 2: 各学会で Web 管理を行う。その場合は、ある程度のスキルがある必要であるが、各学会 5 千円～1 万 5 千円でドメインの運用が可能である。

来年度の予算を決める必要があるため、早めに対応を考えることとし、先に Web 管理費のディスカウントの交渉を久保田氏、水田理事が行う。

連合大会と連合理事の会計を一緒にすることは難しいが、連合大会の HP の使用料を連合理事へ支払うことで Web 管理費の一部に充てることも考えられる。

[3] 2014年度統計関連学会連合第2回理事会・組織委員会について

日時：2014年12月27日（土）13:30～

場所：統計数理研究所八重洲分室

[4] 2015年度統計関連学会連合大会のお知らせ（第一報）

2015年1月中旬に、第一報に市民講演会、チュートリアルの内容を記載する。組織委員会が立ち上がってから動き始めることであるが、第2回理事会・組織委員会からの時間が短いため、プログラム委員会は、第2回理事会・組織委員会の前に市民講演会、チュートリアルのオーガナイズできることが認められた。

[4] 各学会の今後の学会・シンポジウムの日程について

日本統計学会

2015年3月6・7日 ワークショップ 統計数理研究所

2015年3月7日 社員総会 統計数理研究所

2015年3月8日 春季大会 明治大学中野キャンパス

応用統計学会

2015年3月13・14日 年会 京都

日本行動計量学会

2015年9月1・2・3・4日 大会 首都大学東京

日本計量生物学会

2015年3月12・13日 年会 京都

日本計算機統計学会

2014年11月14・15日 シンポジウム 沖縄

2015年5月14・15日 年会 山梨大学

日本分類学会

2015年3月4・5日 大会 帝京大学霞が関キャンパス

2015年3月下旬 場所未定

（文責：小椋 透）